

前田太郎 （まへだ たろう） 言語學者、民俗學者。明治十九年二月生れ、大正十年歿（一八六一—一九二二）。第三高等學校を経て、明治四十二年東京帝國大學文科大學言語學科卒。同期小野秀雄、田中秀次等。卒業後大學院に進み、（二言語と文化）を研究題目として（人類學雜誌）等論文を發表、（藤岡勝）の英和辭典の手傳ひや大學の副手等を務めた。歿後に作成せられた「著作年表」（「外來語の研究」大正十一年四月十五日岩波書店所収）に漏れた「英語自由自在」（五版・明治四十五年七月）十三日英語速成普及會、文成社發賣）を處女出版。また早くから文學に興味を有ち、殊にロシア語を學んだ折にはトルストイに傾倒、「生ける屍」（大正二年刊）を譯した他、二三の譯稿を遺した。

代表的譯業に「（エスペル）セン教授法新論」（大正二年刊）のうち、大塚高信補譯「（イェスパー）セン教授法新論」昭和十六年二月二十五日富山房）がある。一方民俗學にも造詣深く、「世界風俗大觀」（大正三年三月五日東京堂書房）を著した他多くの論文があり、遺著「外來語の研究」（い）と數篇収録。

